

## 安全データシート

## 1. 化学物質等及び会社情報

製品名 マルチフォトメーター用試薬 TBSPTH50  
 品番 3-9792-29  
 会社名、部署名 アズワン株式会社品質保証部  
 住所 〒550-8527 大阪市西区江戸堀2-1-27  
 電話番号 06-6447-8614  
 FAX番号 06-6447-8664  
 推奨用途及び使用上の制限 マルチフォトメーターを用いた水質検査

## 2. 危険有害性の要約

## GHS分類

健康有害性 眼に対する重篤な損傷性又は眼刺激性 区分1 H318

## ラベル要素

絵表示又はシンボル



注意喚起語 危険  
 危険有害性情報 重篤な眼の損傷 H318

注意書き

安全対策 適切な保護手袋／保護衣／保護眼鏡／保護面を着用すること。 P280

応急措置

眼に入った場合：水で数分間注意深く洗うこと。次にコンタクトレンズを着用して  
 いて容易に外せる場合は外すこと。その後も洗浄を続けること。 P305+P351+P338

直ちに医師に連絡すること。 P310

## 3. 組成及び成分情報

単一製品・混合物の区別

混合物

化学名又は一般名	炭酸ナトリウム
別名	炭酸二ナトリウム、 (Carbonic acid disodium)、 ソーダ灰、(Soda ash)
分子式(分子量)	Na <sub>2</sub> CO <sub>3</sub> (105.99)
化学特性(示性式又は構造式)	
CAS番号:	497-19-8
官報公示整理番号 (化審法・安衛法)	(1)-164
濃度又は濃度範囲	<5%

## 4. 応急措置

吸入した場合

空気の新鮮な場所に移し、呼吸しやすい姿勢で休息させること。気分が悪いときは医師の診断、手当てを受けること。

皮膚に付着した場合

多量の水と石けん(鹼)で洗うこと。皮膚刺激が生じた場合は医師の診断、手当てを受けること。

眼に入った場合

水で数分間注意深く洗うこと。次にコンタクトレンズを着用して容易に外せる場合は外すこと。その後も洗浄を続けること。直ちに医師に連絡すること。

飲み込んだ場合

口をすすぐこと。無理に吐かせないこと。直ちに医師の診断、手当てを受けること。

## 5. 火災時の措置

消火剤

水噴霧、泡消火剤、粉末消火剤、炭酸ガス、乾燥砂類

特有の危険有害性

燃焼により有毒ガスが発生する。

## 6. 漏出時の措置

人体に対する注意事項、保護具及び緊急措置

作業者は適切な保護具を着用し、眼、皮膚への接触や吸入を避ける。

環境に対する注意事項

環境中に放出してはならない。

封じ込め及び浄化の方法及び機材

漏洩物を拭き取り、密閉できる空容器に回収し、後で廃棄処理する。

## 7. 取扱い及び保管上の注意

取扱い

適切な保護具を着用し、試薬及び測定対象液が眼や皮膚に触れないよう注意する。

保管

子どもの手の届かない、乾冷暗所に保管すること。

商品パッケージのまま保管すること。

直射日光を避け、冷暗所に保管する。

酸性雰囲気中には保管しないこと。

## 8. ばく露防止及び保護措置

管理濃度 未設定  
許容濃度(ばく露限界値、生物学的ばく露指標)

	炭酸ナトリウム
日本産衛学会	未設定(2007年度)
ACGIH	未設定(2007年度)

### 設備対策

この物質を貯蔵ないし取扱う作業場には洗眼器と安全シャワーを設置すること。  
作業場には全体換気装置、局所排気装置を設置すること。

### 保護具

呼吸器の保護具  
手の保護具  
眼の保護具  
皮膚及び身体の保護具

適切な呼吸器保護具を着用すること。  
適切な保護手袋を着用すること。  
適切な眼の保護具を着用すること。  
適切な保護衣を着用すること。

## 9. 物理的及び化学的性質

物理的状态 形状  
色  
臭い

固形(錠剤)  
薄紫  
無臭

混合物として融点、沸点、引火点、発火点、爆発限界下限、蒸気圧、密度、比重、溶解性、Pow、動粘性率等のデータなし。

## 10. 安定性及び反応性

安定性  
危険有害反応可能性  
避けるべき条件  
混触危険物質  
危険有害な分解生成物

保管上の注意に基づく保管においては安定と考えられる。  
データなし。  
加熱、湿気  
酸化剤、還元剤、酸、アルカリ  
燃焼により有毒ガスが発生する。

## 11. 有害性情報

眼に対する重篤な損傷性又は眼刺激性

炭酸ナトリウムに関して、ウサギを用いた試験において、「刺激性なし(not irritating)」～「強い刺激性(highly irritating)」と相反する結果(SIDS (access on July 2008))が出ている。その中の一つの試験で、非洗浄眼の場合全例に角膜、虹彩、結膜(発赤、浮腫)に症状が発生し、14日の観察期間終了時も症状が残り、ドレイズの最大スコア平均(MMTS)が105と報告されている。また、別の試験の非洗浄眼では、ばく露後1時間で角膜混濁を生じ重度の影響が7日まで持続し、ドレイズの平均評点が角膜で3.8、虹彩で2であり、一部の動物で角膜パ Nusantara および円錐角膜を起こしていた。以上の結果は重篤で不可逆的眼損傷性を示しており、区分1に該当する。本試薬には5%未満の炭酸ナトリウムが含まれるため、区分1とした。

## 12. 環境影響情報

混合物についてのデータはない。個別物質について記す。

炭酸ナトリウム  
水生環境急性有害性

甲殻類(ミジンコ)での48h-EC50=250mg/L(SIDS 2002)であることから、区分外とした。

水生環境慢性有害性

難水溶性ではなく(水溶解度=5307mg/L、PHYSPROP Database 2008)、急性毒性が区分外であることから、区分外とした。

オゾン層への有害性

データなし

## 13. 廃棄上の注意

内容物/容器を都道府県知事の許可を受けた専門の廃棄物処理業者に依頼して廃棄すること。

## 14. 輸送上の注意

国際規制 国連番号  
国連危険有害性クラス  
容器等級  
国内規制 海上規制情報  
航空規制情報  
陸上規制情報

該当しない  
該当しない  
該当しない  
船舶安全法の規定に従う。  
航空法の規定に従う。  
毒劇法及び消防法の規定に従う。

## 15. 適用法令

毒物及び劇物取締法

該当しない

## 16. その他の情報

参考文献

各データ毎に記載した。

注) この情報は、必ずしも充分ではないので、取扱いには注意をお願いします。  
本データシートは情報を提供するもので記載内容を保証するものではありません。